

ベトナムを見てきたよ

中高一貫校・武南中の2年生が報告会



ベトナムの中学校での交流について英語でプレゼンする生徒＝蕨市塚越5丁目の武南中

私立の中高一貫校、武南中学（蕨市）の2年生が初めてのベトナム研修旅行を終わ、24日に同校で報告会があった。珍しい東南アジアでの研修旅行には「アジアの一員としてのアイデンティティーを持ってほしい」との狙いがある。英語をまじえたプレゼンテーションで生徒たちが語ったことは――。

ベトナム研修は、今月8日から6泊7日。2013年春に高校に併設する形で開校した中学校1期生となる2年生全員が対象で、53人が参加した。

経済成長が著しく、インフラ開発が急ピッチで進むベトナム。国際協力機構（JICA）の青年海外協

力隊が歴史的景観の保存に取り組んでいる村を訪れ、隊員からも話を聞いた。南部の中心都市・ホーチミンでは現地の中学校の授業に参加し、同世代の生徒が英語や日本語を学ぶ姿も見聞した。

報告会で、生徒たちは保護者らを前に英語をまじえて成果をプレゼンテーション。「ネットではわからないベトナム人の親切さや優しさを感じて、ベトナムが好きになりました」「ベトナムの生徒は英語や日本語がぺらぺらですごかったです」と発表した。

峯岸弘之教頭は「グローバルといっても、日本では欧米に目が向きがちだった。まずは幅広い視点を持たせたい」。高校1年時には英語圏への研修旅行を予定しているという。（清宮涼）